

岡山市の保健医療 今後力を入れていく事業・取り組み

保健・医療・福祉分野の課題解決や、さらなる充実・発展に向けて、
今後、新たな事業や取り組みを展開していきます。
赤ちゃんから高齢者まで、どの世代も安心して暮らせる
まちづくりを推進します。



※1 医療的ケア児に 対する医療の充実

医療技術の発達とともに、日常生活において医療的ケアを必要とする子どもたちが増加しています。NICU(新生児特定集中治療室)などからの退院後、重い医療機器を装着したままの外来受診は家族にとって大きな負担となります。そうした負担を軽減するため、地域の診療所や病院との連携による医療の提供体制を検討・構築します。

今後の対策案

- 病院との連携による
在宅移行支援体制の構築
- 診療所間の連携による
医療提供体制の充実など

※1…人工呼吸器や胃ろうの使用、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを日常的に必要とする子どものこと



ICTを活用した 小児遠隔健康医療相談

一般診療所の診療時間外にスマートフォンなどのICT(情報通信技術)を活用し、小児科医に救急受診の必要性を相談できる環境を整備します(まずは0歳児第1子の子どもを持つ保護者を対象に実施予定です)。

このような相談機能を充実させることで、不必要な時間外受診や軽症者の救急搬送の抑制にもつなげたいと考えています。

期待される効果

- ★時間外受診の負担軽減
- ★医療費の適正化 など



妊娠期からの 相談支援の充実

少子化や核家族化の進行で、不安を抱えたまま妊娠出産を迎える妊婦さんが増えています。生涯を通じた「健康」の出発点である妊娠期からの支援を充実させていきます。

各区の保健センター内にある「おかやま産前産後相談ステーション」では妊娠届出時に助産師などが面接し、妊娠・出産・育児に関する悩みや相談に応じます。また、産後間もない時期の心身の健康状態を確認し、サポートを行うために、産婦健診や産後ケア事業を始めます。

今後の対策案

- 産婦健康診査費用
(2回)の助成
- 産後ケア事業の開始

育児相談や授乳指導などが受けられるデイサービス型と24時間体制で支援する宿泊型を検討中





フレイル 対策事業

フレイルとは、健常と要介護の間の時期で、加齢とともに心身の活力(例えば筋力や認知機能など)が低下した状態のことです。早期に発見し、予防の取り組みを行うことで、生活機能の維持向上に高い効果が得られると考えられています。

市では、2019年度から市民が薬局や介護予防教室など身近な場所でフレイルチェックを受けられ、必要に応じて介護予防センターの専門職から適切な個別指導・アドバイスを受けられる事業を実施する予定です。

期待される効果

- ★健康寿命を延ばす(介護予防)
- ★認知症など症状の把握



SIBを活用した 「生涯現役」事業

人生100年時代を見据え、活動意欲と能力を持つシニア世代の活躍にますます注目が集まっています。市では、2019年度後半から、高齢者の就労・社会参加支援の新規事業を開始して、シニア世代がいつまでも生き生きと働ける「生涯現役社会」の実現を目指します。シニア世代には、経験や能力に応じたマッチング支援などを行い、就労先や社会参加の場を提供していきます。また、地元企業などには、シニア世代の雇用について働き掛け、雇用のためのアドバイス支援などを行い、働き手不足の解消につなげます。就労・社会参加を通じて、シニア自身の健康維持も期待できます。

期待される効果

- ★シニア世代の生きがいづくりや健康維持の促進
- ★地元企業の働き手不足の解消
- ★地域活動の担い手不足の解消



AIを活用した 健康の「見える化」

市では、医療資源が豊富でヘルスケア事業にも力を入れていますが、現状では全国に比べて生活習慣病患者・予備群が多く、特定健診受診率も低い状況です。その課題を解決するために、国保被保険者に対して人工知能(AI)を活用した対策を始めます。将来の疾病リスクの早期把握や、レセプト・健診データなどのビッグデータを分析・蓄積することで、一人一人に具体的な生活習慣改善メニューを提示し、効果的な保健指導を行うことができるようになります。

期待される効果

- ★疾病リスクの早期発見
- ★データに基づいた具体的な指導の提供が可能に

Column 地域で取り組む「健康市民おかやま21」



「すべての市民が健康で心豊かに生きられるまち」を目指し、市民と行政が一体となって推進している健康づくり運動が「健康市民おかやま21」です。その活動のひとつ、「OKAYAMAノ市民体操」は、運動習慣のきっかけづくりとして、また、地域のつながりや世代を超えた交流を図るために普及しています。

一人では難しい健康づくりも、誰かと一緒に進めると始めやすく、続けやすく、楽しめるようになります。特に、子どもと一緒にできる「OKAYAMAノ市民体操」は、簡単で楽しく、地域行事や公民館、幼稚園や保育園などで行われています。ぜひ一緒に参加してみませんか。健康市民おかやま21推進委員も地域で楽しく健康づくりを進めています。



G20岡山保健大臣会合をみんなで盛り上げよう！ 健康や医療がテーマのイベントを開催！

G20岡山保健大臣会合の周知と、市民・県民の健康維持・増進、岡山の保健医療分野の発展を目的としたイベントを継続的に開催します。

G20岡山保健大臣会合開催200日前イベント

「#健康人宣言岡山」が開催されました

開会式



野外飲食コーナー

笑いヨガ



ストレスチェックや肺年齢、飲みこむ力の測定も

口の中の細菌数や噛む力をチェック



体験・展示コーナー



パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を体験！

ダンスをするのは今回が初めてでした。すごく楽しくて、はまりそうです！



参加した人の声

「ボッチャ」は奥が深い！家族全員、本気になりました。

将来の口の状態が分かる健康チェックがおもしろかったです。



いろいろな面から、健康について考えさせられました。



G20岡山保健大臣会合の約200日前にあたる3月3日、岡山コンベンションセンター（北区駅元町）で、会合の開催機運を高めるプレイイベント「#健康人宣言岡山」が開催されました。当日は、市民・県民の皆さんが健康にもっと関心を持ってもらえるように、健康チェックの体験・展示や、エド・はるみさん（よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属）によるトークショー、TRFのSAMさんが講師を務める健康ダンスセミナー、また飲食コーナーもあつて会場は大いに盛り上がりました！

半年前イベント

200日前イベント

5月5日(祝)・6日(休)

健康フェスタ in Okayama

岡山コンベンションセンター（北区駅元町）

岡山大学と山陽新聞社が昨年から実施している「健康フェスタ in Okayama」とのコラボレーションイベント。最先端医療の発信や保健医療への関心を高めるために、岡山大学病院の専門医などによる講演や医療の仕事体験などを予定。国際的な視野を育む講演の企画も。

会合当日までの
関連イベント
スケジュール

●問い合わせ
G20保健大臣会合推進室
☎086-803-1422

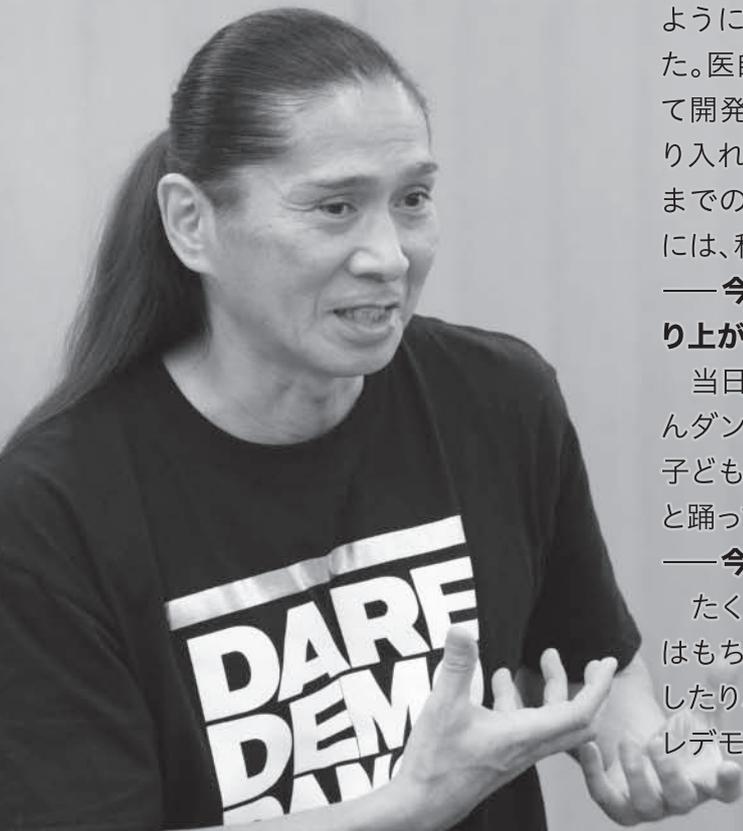
G20 岡山 検索



「#健康人宣言岡山」の一環で開催された
 「第20回 岡山市民と医師会の集い」(主催:(一社)岡山市医師会)の
 健康ダンスセミナーで講師を務められたSAMさん(TRF)に、
 高齢者の健康維持に役立つ「ダレデモダンス」についてお話を伺いました。

INTERVIEW

一般社団法人ダレデモダンス
 SAMさん(TRF)



PROFILE

ダンス&ボークルユニットTRFのメンバーで、2016年に「一般社団法人 ダレデモダンス」を設立。ダンスによる健康づくりと踊る楽しさの普及に努めている。

約2年間かけて共同開発した『岩槻南病院』病院長であり従兄弟の丸山泰幸さん(写真右)。心臓疾患の患者さんにダンスのリハビリを1年間実施し、その効果を実証。うつなどの精神疾患にも有効だと話す。

——「ダレデモダンス」はどうやって生まれたのですか？

もともと医師である従兄弟に高齢者向けのダンスを作ってもらいたいと依頼されたのがきっかけです。誰でも気軽に踊れるようにという想いを込めて「ダレデモダンス」と名付けました。医師や理学療法士、ピラティスなどの専門家の監修を得て開発。脳トレやリハビリに効果的な動きを研究しながら取り入れ、高齢者でも無理なく踊れるように仕上げました。これまでの参加者の最高齢は、なんと94歳！そのパワフルな姿には、私自身が励まされましたね。

——今回の健康ダンスセミナーも盛り上がっていました！

当日は短い時間にも関わらず、皆さんダンスの覚えが良くて驚きました。子どもからご年配の方まで、生き生きと踊ってもらえて本当に良かったです。



——今回応募者が1562人も！市民にひと言お願いします。

たくさんのご応募、ありがとうございました。楽しく踊るのはもちろん、継続することが大事なので、岡山で講師を育成したり、フィットネスクラブと提携したりするなど、いつでもダレデモダンスが踊れる環境や体制を整えていきたいですね。



G20岡山保健大臣会合 当日

10月19日(土)・20日(日)

サイドイベント

イオンモール岡山
 1階未来スクエア、5階おかやま未来ホール
 (北区下石井一丁目)

運動チェックや血圧、骨量測定、子どもの調剤体験などを企画。障害児の福祉機器展も予定しています。

1ヶ月前イベント

9月8日(日)

1ヶ月前イベント

岡山県医師会館(三木記念ホール)
 (北区駅元町)

医療関係者を対象に、薬剤耐性菌(AMR)やフレイルをテーマにしたセミナーを開催する予定。

夏休み子どもイベント

8月1日(木)

おかやまっこ未来フェスタ

イオンモール岡山 1階未来スクエア
 (北区下石井一丁目)

子どもたちが健康について考えたり、G20の国々について興味を持ったりすることができるように、パネル展示や楽しいイベントなどを企画しています。

読者アンケート&プレゼント

特集「G20岡山保健大臣会合」はいかがでしたか？
特集について、以下のアンケートに回答をいただいた人の中から
抽選でプレゼントが当たります。

アンケート

- 1 岡山市で G20 岡山保健大臣会合が開催されることを知っていましたか？
- 2 今号の感想を聞かせてください。
- 3 どの記事に興味を持ちましたか？
- 4 その他のご意見
(毎月発行の「市民のひろばおかやま」などについて)

応募方法

アンケートへの回答、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、はがきまたは封書、ファクス、電子メールで応募してください。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募先は下記の「発行」の住所をご参照ください。携帯電話からは右のQRコードを読み込んでご応募ください。



応募締切 4月30日(火) 当日消印有効

プレゼント

①～④のセット
10人

①ミコロ&ハコロ
トートバッグ



ピンクと
ブルーの
2種類!

②ミコロ&ハコロ
マスキングテープ2個



③ミコロ&ハコロ メモ帳



④ミコロ&ハコロ
マスコット2個セット



せ〜んぶ!
まとめて
もらえるよ!

2019年4月1日発行 第33号

発行:岡山市広報広聴課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

TEL086-803-1024 FAX086-803-1731

電子メール kouhouka@city.okayama.lg.jp

ホームページ <http://www.city.okayama.jp/>

制作・編集 株式会社ビザビ

編集後記

G20岡山保健大臣会合開催まであと半年余りとなりました。世界各地から保健医療分野の関係者が集まり、世界的な課題について議論される国際会合が、この岡山の地で開催されます。岡山の強み、そしてまちの魅力について、世界へアピールするチャンスですが、少し身近な話題とは感じにくいかもしれません。でも私たちは、質の高い医療サービスや、ヘルスポランティアの活躍など、普段の生活でも恵まれた環境のもとで生活しています。そんな我がまち岡山の良さについて、あらためて見つめ直すきっかけになればと思います。